

妖怪百物語（1968）

メディア 映画
ジャンル 特撮 ホラー
製作国 日本
色彩 Color
時間 79分
初公開日 1968/03/20

【解説】

大映「妖怪」シリーズの第一弾。一つの怪談を語るたびにロウソクを消していく“百物語”から物語は始まる。悪徳商人・但馬屋が、長屋と氏神の社殿を取り壊して女郎宿を作る計画を立てた。長屋の住人は反対するが、悪代官と結託した但馬屋は強引に計画を進める。悪事の実態を探るため隠密が調査を始める中、ついに社殿が取り壊され、そこに奉られていた妖怪たちが現れる。

全編怪奇色に彩られた作りで、緻密な恐怖描写に優れた秀作。特撮技術も素晴らしく、多重合成で見せるラストの百鬼夜行のシーンは、日本特撮史の中でも幻想性において屈指の出来と言える。音楽は渡辺宙明が担当、後のシャドウ組織のテーマなどへ連なる片鱗がうかがえる。

【クレジット】

監督	安田公義	
企画	八尋大和	
脚本	吉田哲郎	
撮影	竹村康和	
美術	西岡善信	
	加藤茂	
編集	菅沼完二	
音楽	渡辺宙明	
特殊撮影	黒田義之	
ナレーター	内藤武敏	
出演	藤巻潤	大木安太郎
	高田美和	おきく
	平泉征	太吉
	坪内ミキ子	お仙
	ルーキー新一 Rookie Shinichi	新吉
	林家正蔵	嘶家
	神田隆	但見屋利右衛門
	五味龍太郎	堀田豊前守
	吉田義夫	重助
	水原浩一	藤兵衛
	小倉康子	おりく
	浜村純	伍平
	杉山昌三九	茨木伴内
	花布辰男	甚兵衛（おきくの父）
	伊達三郎	浪人

山本一郎
南部彰三
荒木忍
玉置一恵
近江輝子
小柳圭子
毛利郁子

浪人
町年寄
老僧
名主
お寅
大首
浪人の妻